

2 地域・職域における健康づくりの推進

地域社会全体で市民の健康づくりを支援するため、健康づくり活動組織を強化しながら、地域の健康づくり実践活動を推進するとともに、食生活の改善を図り、肥満や生活習慣病を予防するため、食育の実践を推進する。

また、地域保健と職域保健の連携を図ることにより、地域社会全体での健康づくりを推進する。

(1) 健康づくり推進員活動支援

【事業の目的・内容】

「健康うつのみや21」を推進し、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、家庭、学校、地域、企業、行政等が一体となり、地域の核となる人材の育成及び健康づくり推進体制を整備し、地域における健康づくり活動の充実を図ることを目的とする。

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
健康増進法第8条第2項	健康増進課健康づくりグループ

① 地域における健康づくり推進（平成21年度開始 平成30年度予算：1,858千円 市単独）

地域住民が主体的に健康づくり活動に取り組めるよう、地域の核となる人材の育成及び健康づくり推進体制を整備する。

平成13年度からの2年間、城山、西原、豊郷地区の3地区を対象にモデル地区を設定し、地域特性を考慮した健康づくり実践活動を実施してきたが、平成15年度より、健康づくり推進員を核とした地域主体の健康づくり活動を市全域で展開している。

平成29年度末現在、30組織37地区が組織として地域の中で活動している。

平成27年度に、更なる運動での地域活動の向上を図るため「気軽にエンジョイMiya運動」を作成し、全体研修会等において活用している。

《健康づくり推進員・食生活改善推進員実績》

年 度		養成講座	地区での健康づくり活動	全体研修会	合 計
25	実施回数	16回	1,295回	2回	1,313回
	延べ人数	265人	33,851人	225人	34,341人
26	実施回数	16回	1,415回	2回	1,433回
	延べ人数	378人	35,874人	195人	36,445人
27	実施回数	16回	1,327回	2回	1,345回
	延べ人数	423人	34,704人	124人	35,251人
28	実施回数	16回	1,389回	2回	1,407回
	延べ人数	220人	35,506人	238人	35,964人
29	実施回数	16回	1,379回	2回	1,397回
	延べ人数	232人	35,958人	203人	36,393人

《ウォーキングマップ作成実績》

年 度	25	26	27	28	29
ウォーキングマップの作成 (新規作成数)	19地区 (5地区)	24地区 (4地区)	29地区 (1地区)	29地区 (—)	29地区 (—)

(2) 食生活改善推進員活動支援（平成29年度）

健康づくり推進員とともに、食生活改善推進員のボランティア活動支援や、宇都宮市食生活改善推進団体連絡協議会の事務局業務を担う。

①総会及び理事会

- ・総会：1回
- ・理事会：5回

②研修会（市主催）

内 容	回数	参加会員数
調理実習	3回	57人
研修会	3回	336人
計	6回	393人

③方法別活動状況

推進員数	集会		対話・訪問		総数		自己学習回数
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
266	266	366	4,101	288	2,909	654	7,010

④項目別活動状況

生活習慣病予防		母子の健康貧血予防		高齢者の健康・食生活		その他		総数	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
310	3,434	93	681	153	1,629	85	1,316	654	7,010

(3) 地域・職域連携推進事業（平成25年度開始 平成30年度予算：586千円 国1/2 市1/2）

【事業の目的・内容】

肥満やメンタルヘルスなどの健康課題の多い働き盛り世代を中心とした市民の健康づくりを支援するため、地域・職域連携推進協議会を設置し、地域保健と職域保健の連携を図り、保健事業の実施に要する社会資源を相互に有効活用し、地域社会全体での健康づくりを推進する。

※平成24年度までは市単独で職域における健康づくりを推進

平成21年度 職域に対する健康づくり支援対策を検討するため、「健康づくりに関する事業所アンケート調査」を実施

平成22年度～ 市内事業所への健康情報提供を実施

平成25年度 地域・職域連携推進協議会を設置し、連携事業を開始

平成29年度 第2次健康うつつのみや21中間評価に併せ、事業所アンケートを実施

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
・第2次健康うつつのみや21 ・地域・職域連携推進事業実施要綱	健康増進課企画グループ・ 健康づくりグループ

① 地域・職域連携推進協議会の開催

- ・地域・職域連携推進協議会の開催：2回
- ・ワーキンググループ会議の開催：3回

② 職域に対する健康情報の提供（リーフレットの配布）

年 度	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9
情報提供を行った延べ事業所数	1,695	1,761	2,816	1,465	1,879

③ 地域・職域連携推進協議会構成団体等の既存事業と連携した健康教育

年 度	内 容	回数	受講者
2 5	宇都宮工業団地主催の研修会において講話を実施	1回	53名
2 6	清原工業団地主催の研修会, 労働衛生大会において講話を実施	2回	延200名
2 7	宇都宮工業団地, 清原工業団地主催の研修会, 労働衛生大会において講話を実施	3回	延258名
2 8	宇都宮工業団地, 清原工業団地主催の研修会, 労働衛生大会において講話を実施	3回	延231名
2 9	清原工業団地主催の研修会, 労働衛生大会, 宇都宮工業団地において講話を実施	3回	延246名

④ 働く人の健康づくり講演会（健康経営セミナー）

年 度	内 容	受講者数
2 7	○会社を元気にする！従業員の健康管理 一歩を踏み出した事例を踏まえて（東京大学 特任助教 古井 祐司） ○社員の健康が数字で見える 健康格付型バランスシート（全国健康保険協会支部栃木支部 支部長 栗田 昭治）	127名
2 8	○基調講演「明日からできる健康経営~中小企業の実例から学ぶ~」（日本政策金融公庫総合研究所 研究員 佐々木 真佑） ○事例報告会「市内事業所における従業員の健康づくり」 ・パネラー 小平興業株式会社 管理本部 取締役本部長 河合 成一 株式会社TKC栃木本社経営管理部 部長 笹川 裕介 宇都宮市保健所保健予防課 係長 杉山 佐千子 ・コーディネーター 宇都宮市保健所 所長 上原 里程	108名

29	<p>会場 宇都宮市東市民活動センター ホール</p> <p>○基調講演「エビデンスに基づく健康づくりの最前線」 (筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授 久野 譜也)</p> <p>○事例報告会「事業所における従業員の健康づくり」</p> <p>・パネラー</p> <p>株式会社療食サービス 専務取締役 太田 康雄 和田工業株式会社 取締役 廣田 勝義 株式会社ミットヨ宇都宮事業所 総務部 鈴木 ひろ子 村上 恵美子</p> <p>・コーディネーター</p> <p>全国健康保険協会栃木支部 企画総務部長 大谷 幸男 (代理 企画総務グループ長 小柳 学)</p>	140名
----	---	------

⑤ 各工業団地と連携した出前検診の実施, 検討

年度	内容	回数
26	清原工業団地において婦人科のがん検診を実施	1回
27	清原・宇都宮・瑞穂野工業団地及び宇都宮卸商業団地協同組合に立地する事業所に対して、「保健事業ニーズ調査」を実施	— (95社)
28	瑞穂野工業団地に立地する事業所を対象に婦人科のがん検診を実施 (検診会場：瑞穂野勤労者会館)	1回
29	瑞穂野工業団地に立地する事業所を対象に婦人科のがん検診を実施 (検診会場：瑞穂野勤労者会館)	1回

⑥ 事業所での健康づくり事業（職場で健康講座）の実施【29年度新規事業】

市内の事業所等に管理栄養士や健康運動指導士を派遣し、食生活や運動についての健康講座を開催することにより、従業員の生活習慣改善を支援し、事業所における健康づくりの普及・啓発を図る。

年度	テーマ	回数	受講者数
29	(食生活) 働く世代の生活習慣病予防【再掲】	5回	309名
	(運動) 職場で実践！お手軽運動	9回	405名

(4) 宇都宮歩け歩け大会 (愛称: 宇都宮ウオーキングフェスタ)

【事業の目的・内容】

「歩き・み・ふれる・ふれあいさんぽ宇都宮」をテーマに、恵まれた自然と豊かな文化にふれ、人とひととの交流を深めながら、歩くことの楽しさと、心と体のバランスのとれた健康づくりをすすめることを目的に実施している(主管課: みんなでまちづくり課, 共管課: 健康増進課)。

《実績》

年度	開催日	参加者数	場所	コース
25	10月26日 (日)	荒天により中止	宇都宮城址公園を発着点とする周回コース	5kmコース, 10kmコース, 16kmコース
26	10月26日 (日)	1,633名		5kmコース, 10kmコース, 20kmコース
27	10月25日 (日)	1,593名		5kmコース, 12kmコース, 20kmコース
28	10月30日 (日)	1,670名	旧一条中を発着点とする周回コース	5kmコース, 12kmコース, 20kmコース
29	10月29日 (日)	433名 ※雨天決行	宇都宮城址公園を発着点とする周回コース	5kmコース, 12kmコース, 15kmコース

(5) 食育の推進 (平成18年度開始 平成30年度2,708千円 市単独)

【事業の目的・内容】

生きる上での基本である「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人を育てる「食育」を社会全体で推進するために、行政や関係機関、地域等が連携して総合的・計画的に取り組むことができる体制を整備し、食育を推進する。

① 第3次宇都宮市食育推進計画

【計画策定の趣旨】

食育基本法、国の「第3次食育推進基本計画」や県の「とちぎの食育元気プラン(第3期)」の趣旨を踏まえ、食育を総合的かつ計画的に推進するための指針として策定

根拠法令等	主管課・グループ
食育基本法第18条	健康増進課企画グループ

《実績》

平成18年度	食育に関する意識調査の実施 宇都宮市食育推進計画の策定
平成21年度	宇都宮市食育推進計画進捗確認調査の実施
平成23年度	食育に関する意識調査の実施 第2次宇都宮市食育推進計画の策定
平成26年度	食育に関する意識調査の実施
平成28年度	食育に関する意識調査の実施 第3次宇都宮市食育推進計画の策定

②食育推進会議

【設置目的】

食育の推進に関し、宇都宮市における食育推進計画を作成し、食育の推進に関する施策の実施を推進する。

根拠法令等	主管課・グループ
食育基本法第33条 宇都宮市食育推進会議条例 宇都宮市食育推進会議規則	健康増進課企画グループ

《実績》

年度	25	26	27	28	29
会議開催回数	1回	1回	1回	3回	1回

③宮っこ食育応援団

【事業の趣旨】

第3次宇都宮市食育推進計画に基づき、食育推進に取り組む事業所等を「宮っこ食育応援団」（以下「応援団」という。）として広く募集・登録し、応援団と行政の連携及び応援団相互間の連携を強化し、食育活動をより効果的・効率的に実施するとともに、社会全体の食育推進に対する機運を高め、市民が食育を実践しやすい環境づくりを行う。

平成18年度 「健康づくり協力店」事業を開始

平成19年度 「宮っこ食育応援団」事業を開始

平成23年度 類似事業である「宮っこ食育応援団」と「健康づくり協力店」を統合した新たな「宮っこ食育応援団」として再構築

根拠法令等	主管課・グループ
食育基本法 第3次宇都宮市食育推進計画	健康増進課健康づくりグループ

《実績》

年度	25	26	27	28	29
宮っこ食育応援団登録数	74団体	74団体	75団体	76団体	80団体

④食育関連事業

根拠法令等	主管課・グループ
食育基本法 第3次宇都宮市食育推進計画	健康増進課健康づくりグループ・ 保健センター

《実績》

年度		25	26	27	28	29	
食育出前講座		実施回数	54回	61回	41回	38回	36回
		参加人数	1,308人	1,723人	1,287人	838人	1,133人
食育教室 (※2)	妊婦編	実施回数	4回	3回	3回	3回	3回
		参加人数	39人	53人	32人	24人	31人
	幼児編	実施回数	3回	3回	5回	3回	3回
		参加人数	73人	86人	123人	82人	62人
	小学生編	実施回数	2回	2回	2回	2回	2回
		参加人数	42人	52人	43人	49人	39人
ヘルシーメニューの普及活動(※1)		実施回数	22回	19回	21回	18回	81回
		参加人数	1,863人	1,262人	1,272人	974人	—
食育情報コーナーの設置		資料配布数	3,961部	4,225部	4,056部	3,227部	2,721部
食育月間パネル展		実施回数	2回 (14日間)	1回 (5日間)	1回 (5日間)	1回 (5日間)	1回 (5日間)
食育指導者研修会		実施回数	1回	1回	1回	1回	1回
		参加人数	184人	70人	200人	126人	190人
食育だよりの発行		発行回数	1回	1回	—	—	—
若い世代に対する啓発(高校生・大学生)		実施回数	—	4回	2回	3回	6回
		参加人数	—	546人	291人	100人	170人
野菜の調理実習を通じた啓発		実施回数	—	4回	4回	4回	—
		参加人数	—	78人	73人	51人	—
野菜の計量体験を通じた啓発		実施回数	—	5回	3回	3回	—
		参加人数	—	152人	167人	280人	—

(※1) 平成27年度からは、スーパーや3歳児健診・ママパパ学級会場において、食生活改善推進員と協力し、餃子めし等の試食提供を実施。平成29年度からは、食生活改善推進員の地域活動を通じたヘルシーメニューの普及を実施。

(※2) 保護者(青壮年期)へのアプローチも実施

(6) 食育フェア（平成30年度予算：6,130千円 うつのみや食育フェア実行委員会交付金）

【開催目的】

第3次宇都宮市食育推進計画に基づき、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、家庭、学校、地域、企業など多様な取組主体と連携するとともに、食に関する知識の普及と体験の機会を提供することで、市民に食育の重要性について啓発する。

根拠法令等	主管課・グループ
第3次宇都宮市食育推進計画 うつのみや食育フェア実行委員会設置要領	健康増進課企画グループ

《実績》

年度	25	26	27	28	29
来場者数	40,000人	35,000人	42,000人	43,000人	43,000人

(7) 健康ポイント事業（平成30年度予算：30,057千円）

【事業目的・内容】

一人でも多くの市民が積極的に健康づくりに取り組むきっかけをつくり、さらに、健康づくりの継続を促進するため、運動や健診の受診などの健康づくり活動に対しポイントを付与し、貯まったポイントに応じてサービスや特典を提供する。

根拠法令等	主管課・グループ
第2次健康うつのみや21	健康増進課企画グループ

(8) 保健医療等統計データ管理

【事業の目的・内容】

保健や医療サービスなどの施策の企画立案を行うとき、保健や医療の現状やその将来の予測に係る科学的根拠として活用するために、保健衛生統計データの管理、分析、評価を行う。

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
地域保健法第7条 地域保健対策の推進に関する基本的な指針第二の一2（二） 統計法、人口動態調査令等	総務課企画グループ

《実績》

- ① 保健所等情報システム（W I S H）及び保健福祉情報システムの管理
- ② 保健統計調査の実施
次頁のとおり

調査名	実施時期 (調査期日)	調査内容	H29年度調査実績
人口動態調査	毎月	人口動態調査令に基づき、出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出について、毎月国に報告するもの。	
病院報告	毎月	病院及び療養型病床群を有する診療所における在院患者数、入院・退院患者数、外来患者数、従事者数などについて報告を行う。	対象施設数(H29年4月1日現在) 病院31 療養型病床群を有する診療所2
医療施設調査(動態)	毎月	医療施設の開設、廃止、変更の内容をについて報告を行う。	報告数：病院(変更14)、診療所(新規開設13, 休止1, 廃止13, 変更10), 歯科診療所(新規開設10, 休止1, 廃止6, 変更6)
医療施設調査(静態)	10月1日 (3年に1回)	全ての医療施設を対象に、開設者、所在地、診療科目、従事者数、診療や検査の状況などについて調査を行う。	(平成29年度調査) 対象施設数 病院 31, 診療所 428 歯科診療所 308
患者調査	10月1日 (3年に1回)	医療施設を利用する患者の傷病状況などの実態調査を行う。	(平成29年度調査) 対象施設数 病院 28, 診療所 38 歯科診療所 9
受療行動調査	10月1日 (3年に1回)	患者の医療に対する認識や行動を明らかにするため、診察時間や医師からの説明などの受療状況、診療に対する満足度などについて調査する。	(平成29年度調査) 対象施設数 病院 2
医師・ 歯科医師・ 薬剤師調査	12月31日 (2年に1回)	医師、歯科医師、薬剤師の性、年齢、業務の種別、従事場所などについて調査する。	(平成28年度調査) 回収数：医師 1,109 歯科医師 459 薬剤師 1,200
衛生行政報告例	5月末日	衛生行政に関する業務報告	
地域保健・ 健康増進 事業報告	6月末日	地域保健及び健康増進事業に関する業務報告	
国民生活 基礎調査	6月第1木曜日 (毎年)	保健、医療、年金等の国民生活の基礎的事項について年度ごとに実態調査	調査対象：4地区 回収数：151世帯
社会保障・ 人口問題 基本調査	7月1日 (毎年)	社会保障や人口問題に関する5つの課題について年度ごとに実態調査	調査対象：1地区 回収数：51世帯
参考：10年毎に調査（厚生労働省が直接調査するもの）			
中高年者 縦断調査	平成27～36年 までの 各年11月1日	団塊の世代を含む中高年者の健康・就業・社会活動について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査する。(コーホート調査)	
21世紀 成年者 縦断調査	平成24～33年 までの 各年11月1日	男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を、特定の調査対象に対し継続的に調査する。(コーホート調査)	